

富山県感染症発生動向速報

(2026 年第 5 週分・1 月 26 日～2 月 1 日)

■今週の主な動向

※2026 年第 6 週分は 2 月 12 日 (木) 発行予定です。

○インフルエンザの報告数が注意報レベルの基準を超えました。

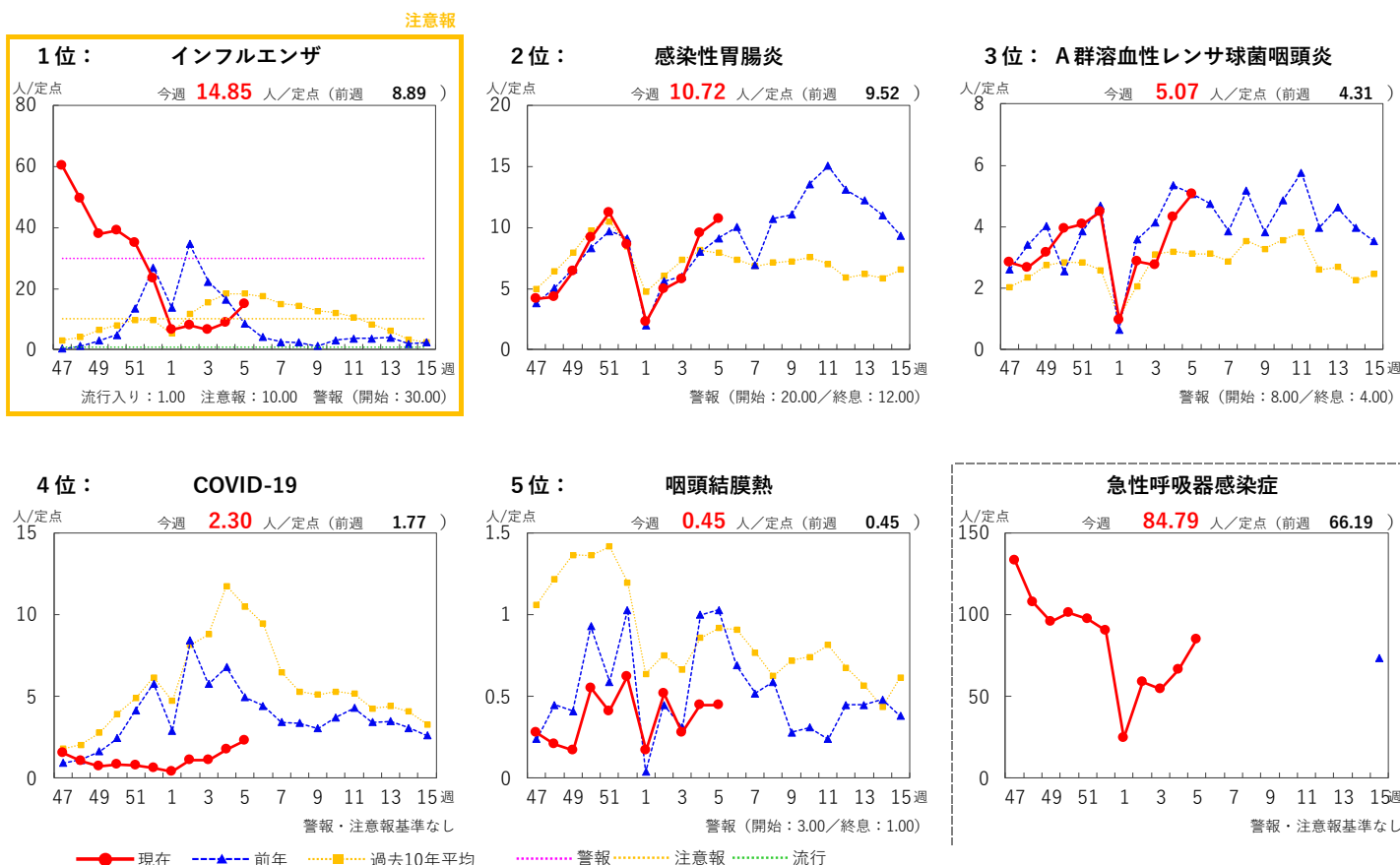
県内の患者報告数は今週 14.85 人/定点となり、注意報レベルの基準である 10.0 人/定点を超えました (2 月 4 日報道発表参照)。型別検出割合は A 型 18.6%、B 型 74.9%であり、B 型の検出割合が高くなっています。引き続き手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第 4 週インフォメーション参照)

○感染性胃腸炎の報告数増加が続いています。

感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。ウイルスや細菌などが主に食品や手指を介して口から入ることによって感染するため、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗って予防しましょう。(今週のインフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 5 週・1/26～2/1)

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

五類感染症 急性脳炎 1 件 (10 歳未満、女性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件 (60 歳代、女性、G 群)





よく手を洗いましょう！ 感染性胃腸炎

《 インフォメーション 》

● 感染性胃腸炎

2026 年第 5 週の県内定点医療機関（小児科）からの感染性胃腸炎患者報告数は 10.72 人/定点となり、先週の 9.52 人/定点から増加しました（図）。例年冬季から春季に患者報告数が増加する傾向があり、今後も感染拡大に注意が必要です。

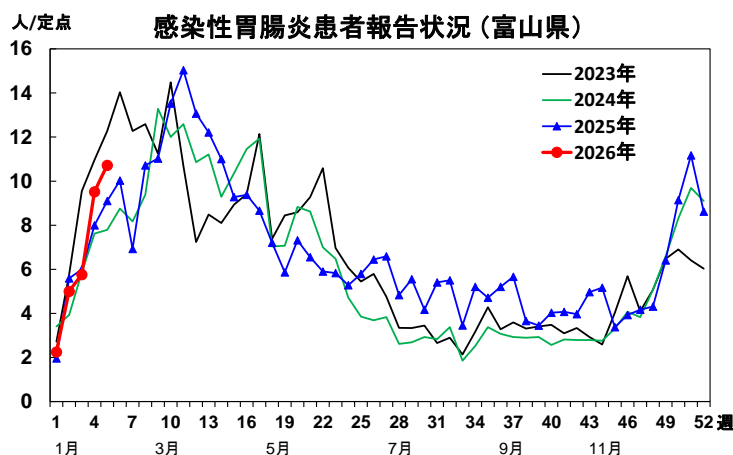
感染性胃腸炎の原因はウイルス（ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス等）によるものが多く、特にノロウイルスによる胃腸炎は冬季に流行します。ノロウイルスは、小児では主に汚染された糞便や吐物から人の手などを介した接触感染や、比較的狭い空間等での飛沫・塵埃感染によって広がります。ウイルスに感染後 1～2 日で、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等の症状を引き起こします。ノロウイルスには有効な抗ウイルス薬やワクチンがないため、治療は対症療法が中心となります。

ノロウイルスは感染力が強く、アルコール消毒が効かないため、汚染された糞便や吐物、患者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります。また、症状の消失後も数週間ほど糞便からウイルスが排出されることから、症状がなくなっても引き続き、手洗いなどの感染予防を徹底しましょう。

ノロウイルスによる食中毒の多くは、調理従事者の手指を介して食品を汚染したことが原因となっています。調理従事者は手洗いを徹底するとともに、食品に直接触れる際には「使い捨て手袋」を着用しましょう。

次のことに注意してノロウイルスによる感染を予防しましょう。

- 食事の前やトイレの後などには、十分に手を洗う。
- 床等に飛び散った糞便や吐物を処理する際は、マスク・手袋・エプロンを着用したうえで、ペーパータオル等で拭き取った後に、塩素系消毒剤を用いる。
参考：[厚生労働省、この冬はノロウイルスに注意しましょう！ 予防対策リーフレット](#)
- 加熱が必要な食品は、しっかり加熱（中心部が 85～90℃で 90 秒以上）して食べる。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第5週 2026年1月26日～2026年2月1日）

分類		疾患	今週報告分（第5週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核									2	1	2	5
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く									1	1		2
	四類感染症	レジオネラ症							1			1		2
	五類感染症	急性脳炎					1	1					1	1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1					2	2
		侵襲性インフルエンザ菌感染症											1	1
		梅毒								2			2	4
		百日咳							1				5	6
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	400	361	1,239	419	1,566	3,985	1,610	1,187	4,199	1,293	5,092	13,381
			57.14	72.20	95.31	59.86	104.40	84.79						
		インフルエンザ	104	23	235	101	235	698	372	136	673	286	583	2,050
			14.86	4.60	18.08	14.43	15.67	14.85						
		COVID-19	25	13	22	5	43	108	82	44	44	24	115	309
			3.57	2.60	1.69	0.71	2.87	2.30						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	3		2		3	8	12		22	1	10	45
			0.75		0.25		0.30	0.28						
		咽頭結膜熱	1		8		4	13	10	2	21		20	53
			0.25		1.00		0.40	0.45						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	24	52	10	53	147	29	34	163	40	192	458
			2.00	8.00	6.50	2.50	5.30	5.07						
		感染性胃腸炎	34	31	87	22	137	311	106	80	222	60	485	953
			8.50	10.33	10.88	5.50	13.70	10.72						
		水痘		1	2		8	11		3	13	4	32	52
				0.33	0.25		0.80	0.38						
		手足口病									1		1	2
		伝染性紅斑			1		4	5	1		9	4	6	20
					0.13		0.40	0.17						
		突発性発しん			3	1		4	2	5	10	4	12	33
					0.38	0.25		0.14						
		ヘルパンギーナ	1					1	7					7
			0.25					0.03						
		流行性耳下腺炎					1	1					3	3
							0.10	0.03						
	眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎								1				1
	基幹定点（5定点）	マイコプラズマ肺炎	1					1	4		1	2	1	8
			1.00					0.20						
		クラミジア肺炎										1		1
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	1				1	2	38	41	41	30	78	228
			COVID-19による入院患者	1	5		1	7	2	9		1	7	19

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が18.6%、B型が74.9%となっています。

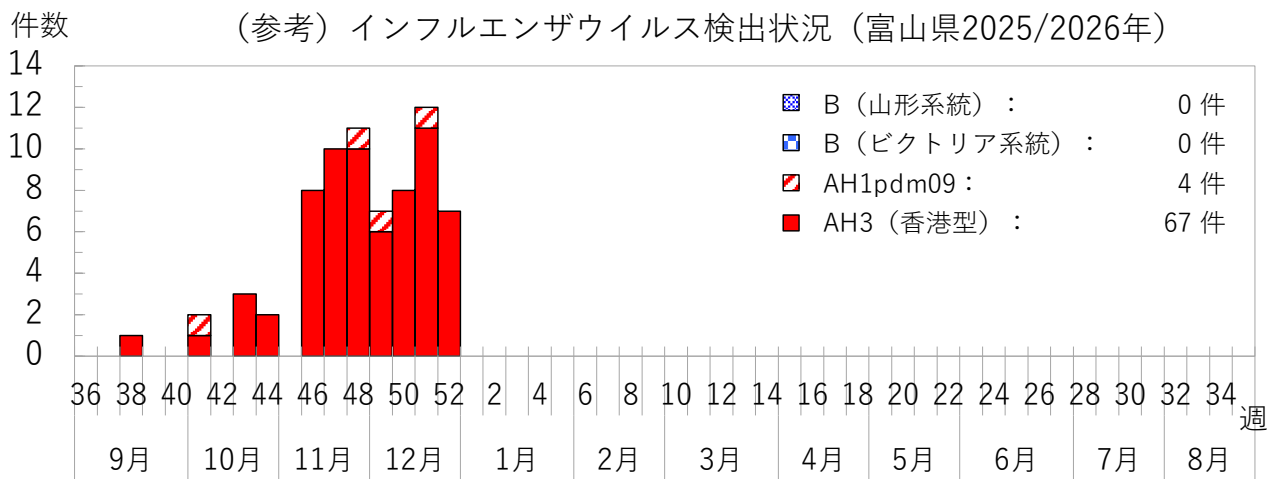
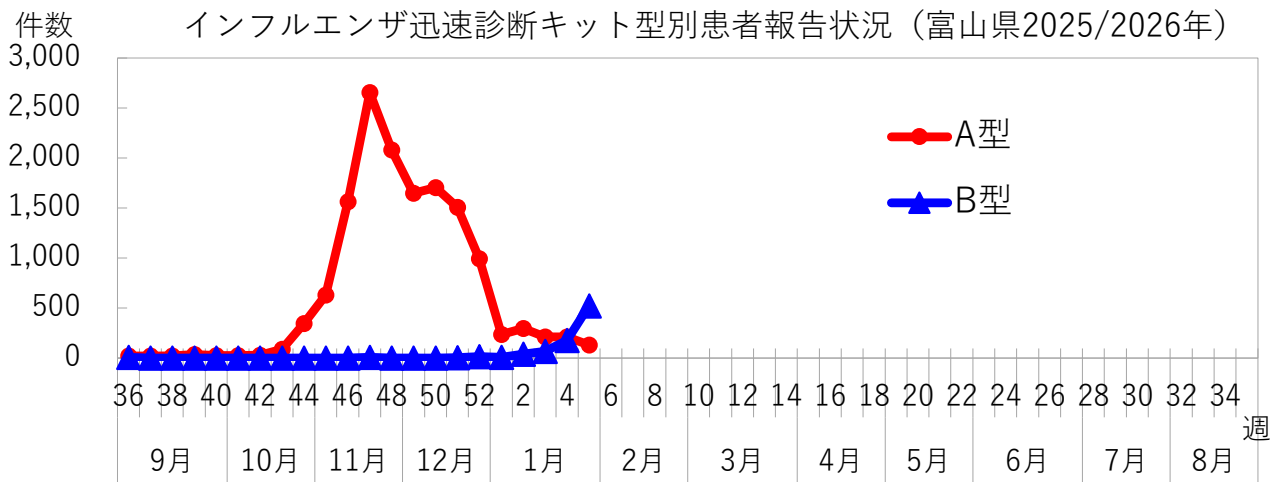
第5週（1/26～2/1）：富山県 14.85人/定点

（単位：件）

厚生センター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	30	71	3	104
中部	4 / 5	6	15	2	23
高岡	12 / 13	49	162	24	235
砺波	7 / 7	13	88	0	101
富山市	14 / 15	32	187	16	235
富山県	44 / 47※1	130	523	45	698
富山県累計（2025年36週～）		14,491	863	1,312	16,666

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が44か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



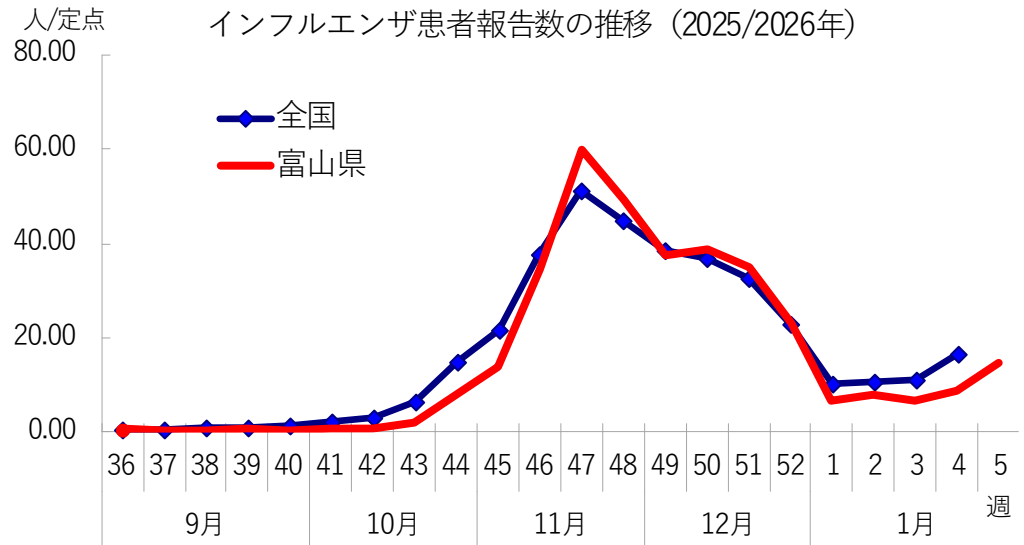
インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第5週（1/26～2/1）

富山県 14.85 人/定点 [新川（14.86）、中部（4.60）、高岡（18.08）、砺波（14.43）、富山市（15.67）]

今週の県内の患者報告数は、14.85 人/定点となり、先週(8.89 人/定点)より増加しました。

インフルエンザ患者報告数の推移（2025/2026年）

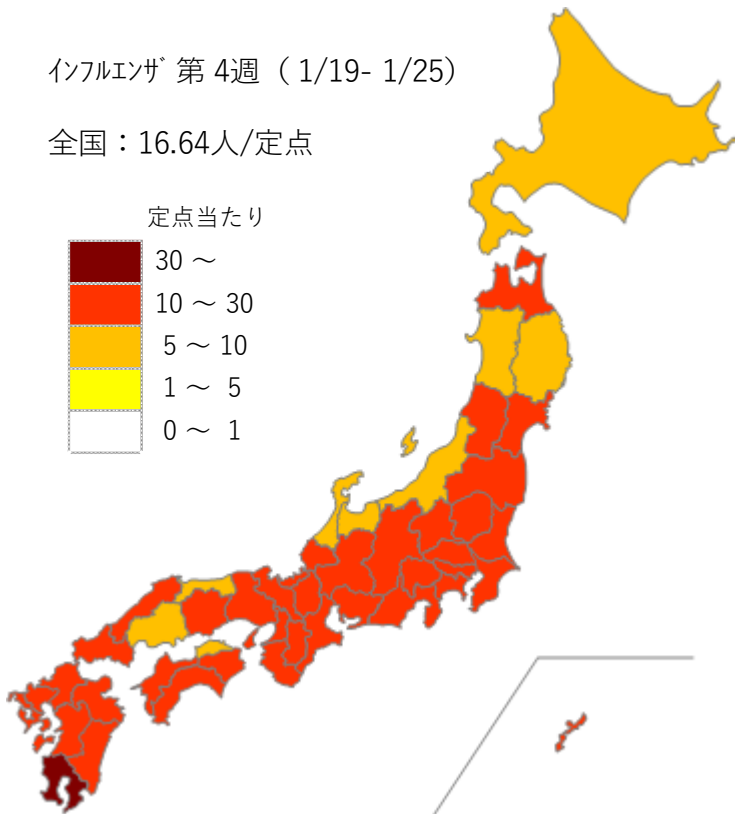
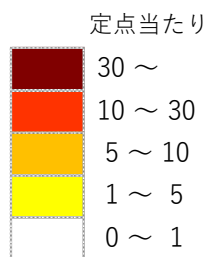


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第4週（1/19～1/25）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 16.64 人となり、前週の 11.32 人より増加しました。42 都道府県で前週より増加しています。5 県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第4週（1/19- 1/25）

全国：16.64人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	5.89 ↑	滋賀県	11.81 ↑
青森県	10.08 ↑	京都府	15.73 ↑
岩手県	7.86 ↑	大阪府	11.21 ↑
宮城県	24.85 ↑	兵庫県	21.34 ↑
秋田県	9.32 ↑	奈良県	14.26 ↑
山形県	11.62 ↑	和歌山県	21.64 ↑
福島県	15.50 ↑	鳥取県	7.28 ↓
茨城県	19.31 ↑	島根県	16.10 ↑
栃木県	14.04 ↑	岡山県	11.06 ↓
群馬県	10.04 ↑	広島県	9.04 ↑
埼玉県	22.18 ↑	山口県	16.51 ↑
千葉県	23.80 ↑	徳島県	11.33 ↑
東京都	13.83 ↑	香川県	7.13 ↓
神奈川県	18.24 ↑	愛媛県	22.08 ↑
新潟県	7.69 ↑	高知県	22.47 ↑
富山県	8.89 ↑	福岡県	18.55 ↑
石川県	9.81 ↑	佐賀県	20.17 ↑
福井県	10.95 ↑	長崎県	22.90 ↑
山梨県	22.23 ↑	熊本県	17.94 ↑
長野県	11.98 ↑	大分県	28.90 ↑
岐阜県	16.47 ↑	宮崎県	29.36 ↓
静岡県	22.73 ↑	鹿児島県	35.19 ↑
愛知県	21.50 ↑	沖縄県	16.02 ↓
三重県	23.84 ↑	全国	16.64 ↑

